



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 ロート製薬株式会社

コード番号 4527

URL <http://www.rohto.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 吉野 俊昭

問合せ先責任者(役職名) 取締役

(氏名) 斉藤 雅也 (TEL) 06-6758-1211

四半期報告書提出予定日 平成29年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	35,837	9.0	3,433	54.9	3,598	48.0	2,275	65.7
29年3月期第1四半期	32,879	△7.2	2,217	19.4	2,432	13.1	1,373	3.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 2,533百万円(—%) 29年3月期第1四半期 △133百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	19.98	19.89
29年3月期第1四半期	12.07	12.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	179,674	119,628	66.0
29年3月期	181,543	118,436	64.7

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 118,644百万円 29年3月期 117,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	11.00	21.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	11.00	—	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	73,000	2.4	6,200	△4.1	6,500	△4.7	4,300	2.6	37.75
通期	158,500	2.5	15,600	1.0	16,000	0.2	10,200	1.9	89.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期1Q	117,936,284株	29年3月期	117,936,284株
30年3月期1Q	4,018,809株	29年3月期	4,021,078株
30年3月期1Q	113,916,916株	29年3月期1Q	113,765,218株

(注) 自己株式数には、従業員持株E S O P信託の保有する当社株式数 (期末自己株式数 29年3月期 2,300株) が含まれております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善するなど緩やかな回復基調で推移したものの、人手不足の深刻化や海外の政治的リスク、新興国の景気動向など懸念材料もあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは顧客志向の新製品開発やマーケティング活動により新規分野への展開を図るとともに、既存分野におきましても消費者ニーズの変化に対応した高付加価値の製品を開発し、市場の活性化に努めてまいりました。

その結果、売上高は358億3千7百万円（前年同期比 9.0%増）となりました。日本においては、「肌ラボ白潤プレミアム」や日焼け止め「スキシアクア」など新製品が好調なことに加えインバウンド需要も寄与しております。海外においても中国での回復傾向が鮮明となっており、米国も増収に寄与いたしました。

利益面につきましては、新規分野への先行投資が継続しているものの、売上高が好調に推移したことに加え販売費及び一般管理費の効率的活用に努めました結果、営業利益は34億3千3百万円（同 54.9%増）、経常利益は35億9千8百万円（同 48.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は22億7千5百万円（同 65.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(日本)

外部顧客への売上高は、233億9百万円（前年同期比 10.8%増）となりました。

主力のアイケア関連品は、高機能眼科用薬「Vルートプレミアム」が好調なことに加え、発売30周年を記念して「ドラゴンクエスト」とコラボした「ルートジー」、「ルートゴールド40」なども順調に推移いたしました。スキンケア関連品につきましても、新製品の「肌ラボ白潤プレミアム」や「50の恵お出かけ前の白髪かくし」、「オバジC 酵素洗顔パウダー」、日焼け止め「スキシアクア スーパーモイスチャージェル」などが堅調でありました。また、内服・食品関連品も漢方・生薬ブランド「和漢箋」から中年期以降の物忘れを改善する新製品「キオグッド顆粒」などが売上に寄与いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が好調に推移したことに加え販売費及び一般管理費の効率的活用に努めました結果、19億5千3百万円（同 76.1%増）となりました。

(アメリカ)

外部顧客への売上高は、16億8千4百万円（前年同期比 5.5%増）となりました。

米国経済が個人消費の堅調な推移により緩やかな回復の兆しを見せてきており、主力のリップクリームも回復傾向となりました。目薬についても、「ルートドライエイド」の発売もあり堅調に推移いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が好調に推移したことに加え広告費及び販売促進費の効率的活用に努めたことにより、1億1千万円の損失（前年同期のセグメント損失は2億3千2百万円）となりました。

(ヨーロッパ)

外部顧客への売上高は、19億1千1百万円（前年同期比 2.2%増）となりました。

売上につきましては、為替の影響があったものの、現地通貨ベースでは順調に推移いたしました。主力の消炎鎮痛剤「ディープヒート」シリーズは堅調に推移しており、ダクス・コスメティクス社も順調で増収に寄与いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、ポンド安の影響により原価率が悪化したことにより、1億3千2百万円（同 23.2%減）となりました。

(アジア)

外部顧客への売上高は、84億1千9百万円（前年同期比 7.4%増）となりました。

売上につきましては、中国において売上が回復してきたことに加えベトナムなどASEAN諸国も堅調に推移いたしました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、売上が回復してきたことに加え広告費及び販売促進費の効率的活用に努めたことにより、13億1千7百万円（同 15.9%増）となりました。

(その他)

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外部顧客への売上高は、5億1千2百万円（前年同期比 5.0%減）となりました。

セグメント利益（営業利益ベース）につきましては、4千万円（同 39.3%増）となりました。

（注）上記の金額には消費税等は含まれておりません。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産総額は1,796億7千4百万円となり、前連結会計年度末より18億6千8百万円減少いたしました。これは、投資有価証券が23億9千4百万円、原材料及び貯蔵品が11億9千7百万円それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が52億7千2百万円減少したこと等によるものであります。

負債総額は600億4千6百万円となり、前連結会計年度末より30億6千万円減少いたしました。これは、支払手形及び買掛金が16億1千4百万円、長期借入金が4億5千5百万円それぞれ増加した一方、未払費用が34億1千万円、賞与引当金が11億4千6百万円、未払法人税等が10億2千6百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

また、純資産につきましては1,196億2千8百万円となり、前連結会計年度末より11億9千2百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が6億7千4百万円、その他有価証券評価差額金が6億5千9百万円それぞれ増加した一方、為替換算調整勘定が1億6千3百万円減少したこと等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、おおむね計画通りに推移しているため、平成29年5月11日に公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想は変更しておりません。

※上記の予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,924	23,665
受取手形及び売掛金	36,061	30,788
電子記録債権	10,524	9,982
商品及び製品	13,946	14,335
仕掛品	2,391	2,628
原材料及び貯蔵品	7,272	8,469
その他	7,316	7,679
貸倒引当金	△489	△478
流動資産合計	100,948	97,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	20,206	20,830
その他（純額）	25,628	25,365
有形固定資産合計	45,834	46,195
無形固定資産		
のれん	735	730
その他	1,927	1,844
無形固定資産合計	2,663	2,574
投資その他の資産		
投資有価証券	27,502	29,897
その他	6,879	6,272
貸倒引当金	△2,284	△2,335
投資その他の資産合計	32,096	33,834
固定資産合計	80,594	82,604
資産合計	181,543	179,674
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,593	11,207
電子記録債務	2,558	2,859
短期借入金	3,353	3,527
未払費用	23,734	20,323
未払法人税等	2,551	1,525
賞与引当金	2,092	945
役員賞与引当金	30	7
返品調整引当金	750	690
売上割戻引当金	2,380	1,850
その他	6,378	6,860
流動負債合計	53,422	49,796

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
固定負債		
長期借入金	1,765	2,220
退職給付に係る負債	4,410	4,181
債務保証損失引当金	789	789
その他	2,720	3,059
固定負債合計	9,684	10,250
負債合計	63,107	60,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,415	6,415
資本剰余金	5,737	5,737
利益剰余金	106,302	106,977
自己株式	△4,938	△4,935
株主資本合計	113,517	114,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,862	6,521
為替換算調整勘定	△439	△602
退職給付に係る調整累計額	△1,498	△1,471
その他の包括利益累計額合計	3,924	4,447
新株予約権	560	560
非支配株主持分	434	423
純資産合計	118,436	119,628
負債純資産合計	181,543	179,674

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	32,879	35,837
売上原価	14,343	15,685
売上総利益	18,535	20,151
返品調整引当金戻入額	90	60
差引売上総利益	18,625	20,211
販売費及び一般管理費	16,408	16,777
営業利益	2,217	3,433
営業外収益		
受取利息	47	55
受取配当金	188	180
その他	81	168
営業外収益合計	317	404
営業外費用		
支払利息	33	32
持分法による投資損失	54	170
その他	14	35
営業外費用合計	102	239
経常利益	2,432	3,598
特別損失		
投資有価証券評価損	217	2
関係会社株式評価損	6	0
貸倒引当金繰入額	210	80
関係会社貸倒引当金繰入額	2	—
特別損失合計	435	82
税金等調整前四半期純利益	1,996	3,515
法人税等	628	1,235
四半期純利益	1,368	2,279
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,373	2,275

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	1,368	2,279
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△536	659
為替換算調整勘定	△929	△375
退職給付に係る調整額	49	27
持分法適用会社に対する持分相当額	△85	△58
その他の包括利益合計	△1,501	253
四半期包括利益	△133	2,533
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△105	2,542
非支配株主に係る四半期包括利益	△27	△9

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	21,035	1,596	1,870	7,836	32,339	539	32,879	—	32,879
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	550	273	0	674	1,497	13	1,510	△1,510	—
計	21,586	1,869	1,870	8,511	33,837	552	34,390	△1,510	32,879
セグメント利益 又は損失(△)	1,109	△232	172	1,136	2,185	28	2,214	2	2,217

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額2百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント (注) 1					その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 4
	日本	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	計				
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	23,309	1,684	1,911	8,419	35,324	512	35,837	—	35,837
(2) セグメント間の 内部売上高 又は振替高	602	223	4	606	1,436	21	1,457	△1,457	—
計	23,911	1,908	1,916	9,025	36,761	533	37,295	△1,457	35,837
セグメント利益 又は損失(△)	1,953	△110	132	1,317	3,293	40	3,333	100	3,433

(注) 1 「アメリカ」の区分は米国、カナダ等の現地法人の事業活動、「ヨーロッパ」の区分は英国、ポーランド、南アフリカの現地法人の事業活動、「アジア」の区分は中国、台湾、ベトナム等の現地法人の事業活動を含んでいます。

2 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、オーストラリアの現地法人の事業活動を含んでいます。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額100百万円は、全額がセグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。